

1 単元名 Program 7 If You Wish to See a Change (SUNSHINE ENGLISH COURSE2)

2 単元目標

(1) 動名詞、「look 形容詞」「become 形容詞」、「主語＋動詞＋人＋もの」が用いられた英文の構造を理解することができる。(知識・技能)

(2) 動名詞、「look 形容詞」「become 形容詞」、「主語＋動詞＋人＋もの」を用いて、気候変動問題への具体的な行動指針とその理由を書いたり話したりして、相手に伝えることができる。(思考・判断・表現)

(3) 動名詞、「look 形容詞」「become 形容詞」、「主語＋動詞＋人＋もの」を用いて、気候変動問題への具体的な行動指針とその理由を書いたりジェスチャーなどとともに話したりして、積極的に相手に伝えようとするすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

○教材観

本単元では、1992年リオで行われた地球環境サミットで、子どもの環境団体の代表としてスピーチを行い、現在も環境活動家として環境保護運動に取り組んでいるセヴァン・カリス＝スズキさんのメッセージを扱う。環境保護を始めとする様々な国際問題の課題解決に向けて行動を起こす必要性を説く彼女の思いを、スピーチや本文から読み取ることで、生徒が自分の将来の生き方について深く考えるきっかけとなる内容である。また、スピーチをした時の彼女の年齢が12歳であったこと、大牟田市で相当な被害をもたらした豪雨や、大型台風の増加で、気候変動問題がメディア等でクローズアップされていることから、生徒にとって身近で刺激となる題材である。言語材料としては、動名詞、「look 形容詞」「become 形容詞」、「主語＋動詞＋人＋もの」を取り扱う。これらを習得することで、英文の幅が広がり、英語で自分の考えを表現する際に活用することができる。

○生徒観

本学年(2年生)の生徒は、全体的に真面目で、前向きに英語学習に取り組んでいる。また、自分の考えを作る場面においては、質問をしたり、辞書を活用したりするなどして、英語で表現することに積極的な生徒が多い。しかし、学力の二極化が見られ、何と書いてよいか分からず、手がとまっている生徒もいる。英語の4技能である「話す・聞く・読む・書く」の4つの活動の中で、「書く活動」が苦手である生徒が多くを占めている状況にある。また、気候変動問題については、生徒に事前に行ったアンケートによると、「気候変動問題は今後解決されるべき問題だと思うか」という問いに対して「はい」と答えた生徒が76名中73名であり、世界の重要な課題であることは認識できている。しかし、「実際に気候変動を止めるために何か行動しているか」という問いに対しては、「していない」と答えた生徒が65名と多く、解決されるべき問題と思っているのにも関わらず、実際に行動している人は少ないという現状にあることが分かった。

○指導観

本単元の指導にあたっては、セヴァン・スズキさんが環境活動家であることから、気候変動問題に焦点をあて、気候変動を止めるためには、今後どのように自分が行動していくべきか英語で表現できるようになることをねらいとする。また、一人ひとりの意識や行動が大切であり、実際に行動にうつしていくことが必要であることに気づかせ、今後の具体的実践に繋げてほしいと考える。指導にあたっては、

次のような手立てをとる。

- ・気候変動の原因や問題を訴えている Youtube の映像や、セヴァン・スズキさんやグレタ・トゥーンベリさんのスピーチから、気候変動問題に対して課題意識を持たせる。
- ・ワークシートやペア・班活動などを活用し、新出言語材料を取り入れた言語活動を組み込んだり、教科書の本文の内容確認を行ったりする。
- ・気候変動問題によって起こる問題や原因を探るために、自分の持っている知識や、他教科やメディアから得た情報を共有する時間を設定する。
- ・気候変動を止めるために今後どのように行動していくべきか英語で書かせた後で、ペアで読む練習を行い、相互評価する時間を設定する。
- ・班→全体で意見交流を行い、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・決めた行動指針を深く意識化し、自身の行動に繋げさせるために、ポスターを作成する場を設定する。

4 単元の評価基準

ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現	ウ. 主体的に学習に取り組む態度
①動名詞（動詞の ing 形）の文型を理解している。	①気候変動を止めるために、今後どのように自分が行動していくべきかそしてそう思う理由を、既習の文法事項を用いて、3文以上の英語で書くことができる。	①気候変動の問題を自分事として捉え、課題解決に向けて、どのように意識や行動を変えていけばよいのかを考えようとしている。
②「look 形容詞」「become 形容詞」の文型を理解している。	②気候変動問題への具体的な行動指針とその理由を、英語で相手に話して伝えることができる。	②辞書を活用したり、質問したりしながら、一生懸命英文や自分の考えを書こうとしている。
③「主語＋動詞＋人＋もの」の文型を理解している。		③ジェスチャーなどを用いて、一生懸命自分の考えを話そうとしている。

5 ESD の関連

(1) 本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

【相互性】…地球に住む全世界の人々と環境との関わりに気づくことができる。

【有限性】…将来の世代のために、有限な自然環境がどんどん破壊されていることに歯止めをかけないといけないことに気づくことができる。

【責任性】…気候変動を防ぐために、私たち一人ひとりが日々の生活様式や消費行動を変えていくことが大切であることに気づくことができる。

(2) 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

- ・批判的に考える力（クリティカル・シンキング）

気候変動問題について課題意識をもち、これまでの自分たちの生活を振り返ることができる。

- ・多面的・総合的に考える力（システムズ・シンキング）

気候変動について、様々な視点から、原因や自分たちがすべきことを考えることができる。

- ・コミュニケーションを行う力

これから大切にしていけるべき意識や行動について、意見交流を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(3) 本学習で変容を促す ESD の価値観

- ・自然環境、生態系の保全を重視する

気候変動を止めることが、自然環境や生態系の保護につながることに気づくことができる。

(4) 達成が期待される SDGs

- | | | | |
|-----|-----------------|-----|------|
| 1 2 | 持続可能な生産・消費形態の確保 | 1 3 | 気候変動 |
| 1 4 | 海洋資源 | 1 5 | 陸上資源 |

6. 展開の概要 (全 1 2 時間)

学習活動	●学習への支援 ・予想される生徒の反応	○評価 ・備考
<p>1. 本単元の学習の見通しを持ち、課題意識を持つ。(1 時間)</p> <p>(1)セヴァン・スズキさん、グレタ・トゥーンベリさんの写真を見て、環境活動家であることを知る。</p> <p>(2) Youtube の映像を見て、気候変動問題について問題提起していることに気づく。</p> <p>(3) 2 人の環境活動家のスピーチを視聴し、感じたことや印象に残ったことを書く。</p>	<p>●本単元の見通しをつかませるために、Ipad や Youtube の映像などの ICT を活用する。</p> <p>・グレタ・トゥーンベリさんは、気候変動問題の原因や現状を訴えている。</p> <p>・気候変動の問題が、環境破壊や生態系の破滅につながっている。</p> <p>・自分と同じ世代の人たちが危機感を持っていて、安心して暮らせていない現状にある。</p> <p>・気候変動を止めなければ、不安で住みづらい社会になってしまう。</p>	ウ. ①
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">気候変動を止め、わたしたちが安心して暮らすためにはどうすればよいのだろう</div>		
<p>2. 新出言語材料を学習し、教科書の内容を理解する。(6 時間)</p> <p>(1) 動名詞(動詞の ing 形)の文型を理解し、使うことができるようになる。</p> <p>(2) 教科書の内容を理解する。</p> <p>(3) 「look 形容詞」「become 形容詞」の文型を理解し、使うことができるようになる。</p> <p>(4) 教科書の内容を理解する。</p> <p>(5) 「主語+動詞+人+もの」の文型を理解し、使うことができるようになる。</p> <p>(6) 教科書の内容を理解する。</p>	<p>●動名詞の文型を理解し使うことができるようにするために、自分の趣味や好きなことを書き、伝えあう活動を設定する。</p> <p>●内容を理解させるために、TF や QA をする。</p> <p>●「look 形容詞」の文型を理解し、使うことができるようにするために、人物の表情や様子とその理由を伝えあう活動を設定する。</p> <p>●「主語+動詞+人+もの」の文型を理解し、使うことができるようにするために、ペアで物のやり取りをする活動を設定する。</p>	ウ. ② ア. ① ア. ② ア. ③
<p>3. 気候変動問題の問題や原因について考え、今後どのように行動すべきか、英語で書いたり話したりして表現する。(4 時間)</p>	<p>●具体的にどう行動するべきかを書かせるために、まず、気候変動によって起こる問題や原因について考えさせる。</p>	ウ. ①
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">気候変動によって起こる問題や、気候変動の原因は何だろう？</div>		
<p>(1) 気候変動によって起こる問題を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水面積や海面水位の減少 ・生態系の影響 ・災害リスクや感染症の増大 ・作物収穫量の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温が上昇するだけでこんなにたくさん問題が発生するのか。 ・このままにしておくと、将来日本や世界はどうなるのだろう。 	

<p>(2) 気候変動の原因について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素やメタン、一酸化炭素などの温室効果ガスの増加 ・森林破壊 ・食品ロスや食料廃棄の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素をださないようにすればいいけど、具体的にはどうしたらいいのかな。 ・1人1人の意識した行動が、安心して暮らせる社会につながっていくのかな。 	ウ. ①
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 気候変動を止めるために、わたしたちはどのように行動していけばよいだろう？ </div>		
<p>(3) 気候変動を止めるために、今度どのよう に行動していくのか、そう思う理由を、3文以上 の英語で書く。</p> <p>・既習の文法事項（動名詞、「look/become 形容 詞」、「主語＋動詞＋人＋もの」のいずれかを用 いて書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●書かせるための手立てとして、辞書を活用させたり、机間巡視をしたりする。 ●学力が低い生徒への支援として、モデル文を掲示して使える表現を紹介する。 ・ <i><u>I will not use a car as much as possible. Using a car is not good for environment. I think people have to use public transportation.</u></i> 	イ. ① ウ. ②
<p>(4) 書いた文を発表し、班や全体で意見交流 する。</p> <p>①ペアで相互評価をして、練り直したり、話す 練習をしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i><u>Clerks gave people plastic bags for free before. However, plastic bags produce CO2. I think we should use an ecobag.</u></i> 	イ. ② ウ. ③
<p>◇<u>表現面</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿を見ないで話しているか ・ジェスチャーや抑揚、間の取り方などの工夫をして話しているか <p>◇<u>内容面</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3文以上の英文で書けているか ・具体的な行動指針とその理由を書いているか ・新出文法事項が一つ以上入っているか <p>②班ごとに1人ずつ発表して、質問したり、意見交流をしたりする。</p> <p>③班の中で、一番上手に伝えることができた生徒を選び、全体で発表する。</p> <p>4. 気候変動について考えたことを、外国人向けのポスターにまとめる。(1時間)</p> <p>(1) ポスターを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決めた行動指針をもとに、オリジナルのポスターを作成する。 <p>(2) 作成したポスターを地域に貼る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●英文の幅を広げたり、深めたりすることができるようにするために、書いたものを発表し、意見交流する場を設定する。 ●書いた文を練り直したり、工夫して読んだりすることができるようにするために、ペアで相互評価をする時間を設定する。 ●相互評価できるようにするために、評価するポイントを、表現面と内容面に分けて与え、評価させる。 ●意見を共有するために、内容・伝え方ともに、一番上手に伝えることができた生徒を班の中から選ばせ、全体で発表する場を設定する。 ●自分で行うと決意した内容を、深く意識化するとともに、相手にも意識してもらうようにするために、ポスターを作成する場を設定する。 ●外国人との繋がりを意識させ、地域のネットワークを広げるために、作成したポスターを地域に貼らせる。 	